

令和3年7月～9月期 外ヶ浜町景況動向調査

1. 調査時期及び調査対象期間

(1) 調 査 時 期 : 令和 3 年 10 月

(2) 調査対象期間 : 令和 3 年 4 月～ 6 月期実績及び令和 3 年 7 月～ 9 月期見通しを調査

2. 調査対象及び回収状況 (77事業所のうち、68事業所の回答を得え、84.8%の有効回答率)

NO	業 種	調査対象件数		有効回答件数		有効回答率
(1)	製 造 業	5	6.5%	5	7.2%	100.0%
(2)	建 設 業	19	24.7%	18	26.1%	94.7%
(3)	卸 売 業	2	2.6%	2	2.9%	100.0%
(4)	小 売 業	29	37.7%	24	34.8%	82.8%
(5)	サ ー ビ ス 業	22	28.6%	20	29.0%	90.9%
計		77	100.0%	69	100.0%	89.6%

3. 調査結果

Q1 2021年7月～9月の売上

全 業 種 (平均売上)

(単位：千円)

	全産業平均金額	前月対比
2022年6月売上	418,082	-
2021年7月売上	637,146	152.4%
2021年8月売上	385,298	60.5%
2021年9月売上	428,028	111.1%

業 種 別 (平均売上)

(単位：千円)

業種名	2021年6月売上	2021年7月売上	2021年8月売上	2021年9月売上	2021年 7～9月期平均
	-	前月対比	前月対比	前月対比	
製 造 業	36,142	72,532	577	1,151	74,259
	-	200.7%	0.8%	199.6%	
建 設 業	9,147	10,720	16,241	19,261	46,222
	-	117.2%	151.5%	118.6%	
卸 売 業	4,865	8,055	9,000	7,472	24,526
	-	165.6%	111.7%	83.0%	
小 売 業	1,628	1,583	1,728	1,472	4,782
	-	97.2%	109.2%	85.2%	
サ ー ビ ス 業	1,196	1,372	1,531	1,266	4,168
	-	114.7%	111.6%	82.7%	

Q2 今期（2021年7～9月）の状況は、前年同期及び前期と比較してどうですか。又来期（7～9月）の見通しは、前年同期及び今期と比較してどうですか。

（注意）無回答の中には設問が該当しないものも含む

①売上（加工）額

売上額	【今期の状況】（1）前年同期（2020年7～9月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 増 加	2	6	1	3	6	18
2. 不 変	2	6	0	6	5	19
3. 減 少	0	6	1	15	8	30
計	4	18	2	24	19	67

無回答1事業所 無回答1事業所

➡ 前年同期に比べて、45%の事業所が売上減少だとしている。増加27%、不変28%

売上額	【今期の状況】（2）前期（2021年4～6月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 増 加	1	10	2	4	6	23
2. 不 変	1	3	0	9	5	18
3. 減 少	1	5	0	10	8	24
計	3	18	2	23	19	65

無回答2事業所 無回答1事業所 無回答1事業所

➡ 前期に比べて、35%の事業所が売上増加だとしている。減少37%、不変28%

売上額	【来期の見通し】（3）今期（2021年7～9月）と比べた来期（10～12月）の見通し					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 増 加	1	1	1	4	3	10
2. 不 変	2	7	0	9	6	24
3. 減 少	1	8	1	11	10	31
計	4	16	2	24	19	65

無回答1事業所 無回答2事業所 無回答1事業所

➡ 来期の見通しとして、今期に比べて48%の事業所が売上減少だとしている。不変37%、増加15%

②仕入単価

仕入・材料 単 価	【今期の状況】（1）前年同期（2020年7～9月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 上 昇	4	9	1	3	7	24
2. 不 変	1	4	1	15	8	29
3. 低 下	0	2	0	6	3	11
計	5	15	2	24	18	64

無回答3事業所 無回答2事業所

➡ 前年同期に比べて、45%の事業所が仕入単価は不変だとしている。上昇38%、低下17%

仕入・材料 単 価	【今期の状況】（2）前期（2021年4～6月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 上 昇	4	10	1	2	5	22
2. 不 変	1	4	1	18	10	34
3. 低 下	0	1	0	3	3	7
計	5	15	2	23	18	63

 無回答3事業所
  無回答1事業所
  無回答2事業所

➡ 前期に比べて、54%の事業所が仕入単価は不変だとしている。上昇35%、低下11%

仕入・材料 単 価	【来期の見通し】（3）今期（2021年7～9月）と比べた来期（10～12月）の見通し					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 上 昇	2	7	1	5	6	21
2. 不 変	3	6	1	15	10	35
3. 低 下	0	2	0	4	2	8
計	5	15	2	24	18	64

 無回答3事業所
  無回答2事業所

➡ 来期の見通しとして、今期に比べて55%の事業所が仕入単価は不変だとしている。上昇33%、低下

③資金繰り

資金繰り	【今期の状況】（1）前年同期（2020年7～9月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 上 昇	1	0	1	0	1	3
2. 不 変	3	12	1	16	12	44
3. 低 下	1	2	0	8	6	17
計	5	14	2	24	19	64

 無回答4事業所
  無回答1事業所

➡ 前年同期に比べて、69%の事業所が不変だとしている。低下27%、上昇4%

資金繰り	【今期の状況】（2）前期（2021年4～6月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 上 昇	0	0	1	0	1	2
2. 不 変	4	12	1	16	15	48
3. 低 下	1	3	0	7	3	14
計	5	15	2	23	19	64

 無回答3事業所
  無回答1事業所
  無回答1事業所

➡ 前年同期に比べて、75%の事業所が不変だとしている。低下22%、上昇3%

資金繰り	【来期の見通し】(3) 今期(2021年7~9月)と比べた来期(10~12月)の見通し					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 上昇	0	0	1	0	1	2
2. 不変	4	12	1	16	15	48
3. 低下	0	3	0	8	3	14
計	4	15	2	24	19	64

無回答1事業所

無回答3事業所

無回答1事業所

➡ 来期の見通しとして、今期に比べて75%の事業所が不変だとしている。低下22%、上昇3%

④従業員(臨時・パート含む)

従業員 (臨時・ パート含 む)	【今期の状況】(1) 前年同期(2020年7~9月)に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 増加	0	2	0	0	1	3
2. 不変	3	10	2	18	16	49
3. 減少	0	1	0	0	1	2
計	3	13	2	18	18	54

無回答2事業所

無回答5事業所

無回答6事業所

無回答2事業所

➡ 来期の見通しとして、今期に比べて33%の事業所が不変だとしている。増加6%、減少2%

従業員 (臨時・ パート含 む)	【今期の状況】(2) 前期(2021年4~6月)に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 増加	1	0	0	0	0	1
2. 不変	2	12	2	17	17	50
3. 減少	0	1	0	0	1	2
計	3	13	2	17	18	53

無回答2事業所

無回答5事業所

無回答7事業所

無回答2事業所

➡ 前年に比べて、94%の事業所が不変だとしている。減少4%、増加2%

従業員 (臨時・ パート含 む)	【来期の見通し】(3) 今期(2021年7~9月)と比べた来期(10~12月)の見通し					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 増加	1	0	0	0	1	2
2. 不変	2	13	2	18	16	51
3. 減少	0	0	0	0	1	1
計	3	13	2	18	18	54

無回答2事業所

無回答5事業所

無回答6事業所

無回答2事業所

➡ 来期の見通しとして、今期に比べて94%の事業所が不変だとしている。増加4%、減少2%

⑤採算（経常利益）

採 算 （経常利 益）	【今期の状況】（1）前年同期（2020年7～9月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 好 転	1	0	1	1	2	5
2. 不 変	2	11	1	10	7	31
3. 悪 化	1	2	0	13	10	26
計	4	13	2	24	19	62

無回答1事業所 無回答5事業所 無回答1事業所

➡ 前年同期に比べて、50%の事業所が不変だとしている。悪化42%、好転8%

採 算 （経常利 益）	【今期の状況】（2）前期（2021年4～6月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 好 転	0	1	1	1	1	4
2. 不 変	3	10	1	13	13	40
3. 悪 化	1	3	0	8	5	17
計	4	14	2	22	19	61

無回答1事業所 無回答4事業所 無回答4事業所 無回答1事業所

➡ 前年に比べて、66%の事業所が不変だとしている。減少28%、増加6%

採 算 （経常利 益）	【来期の見通し】（3）今期（2021年7～9月）と比べた来期（10～12月）の見通し					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 好 転	1	0	1	3	1	6
2. 不 変	2	10	0	11	11	34
3. 悪 化	1	4	1	10	7	23
計	4	14	2	24	19	63

無回答1事業所 無回答4事業所 無回答1事業所

➡ 来期の見通しとして、今期に比べて54%の事業所が不変だとしている。悪化37%、増加9%

⑥長期借入難度

長期借入難 度	【今期の状況】（2）前期前期（2021年4～6月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 容 易	0	0	0	0	1	1
2. 不 変	2	9	2	13	9	35
3. 困 難	0	1	0	1	3	5
計	2	10	2	14	13	41

無回答3事業所 無回答8事業所 無回答10事業所 無回答7事業所

➡ 前年に比べて、85%の事業所が不変だとしている。困難12%、容易3%

⑦借入金利（利息）

借入金利 （利 息）	【今期の状況】（2）前期（2021年4～6月）に比べて					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1. 上 昇	0	0	0	0	0	0
2. 不 変	2	10	2	13	12	39
3. 低 下	0	0	0	0	1	1
計	2	10	2	13	13	40

無回答3事業所
 無回答8事業所
 無回答11事業所
 無回答7事業所

➡ 前年に比べて、98%の事業所が不変だとしている。低下3%

Q3 今期及び来期（2021年4～6月及び2021年7～9月）の新規設備投資の状況は、どのような状況です

設備投資	（3）設備投資内容（今期及び来期）					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
1 土 地	0	0	0	0	0	0
2 建 物	0	0	0	0	1	1
3 機 械	0	2	0	1	0	3
4 車両・運搬	1	2	1	1	1	6
5 付帯施設	0	0	0	0	2	2
6 OA 機器	0	2	0	0	0	2
7 福利厚生施設	0	0	0	0	1	1
8 そ の 他	0	0	0	1	0	1
計	1	6	1	3	5	16

順 位	業種別	
	業種別	%
第1位	建 設 業	38%
第2位	サ ー ビ ス 業	31%
第3位	小 売 業	19%
第4位	卸 売 業	12%
	卸 売 業	

順 位	設備投資内容	
	業種別	%
第1位	車両・運搬	38%
第2位	機 械	18%
第3位	O A 機 器	13%
	付 帯 施 設	13%
第5位	建 物	6%
	福利厚生施設	6%
	そ の 他	6%

Q3 今期直面している経営上の問題点を3つ以内選んで、重要度の高い順該当する番号を回答欄にご記入下
1最も優先される経営課題（第1位～3位）

経営課題	(1) 今期（2020年7～9月）			
	第1位	第2位	第3位	計
1 大企業（大型店等）の進出による競争悪化	4	2	0	6
2 新規参入者（同業者）の進出（増加）	0	3	0	3
3 消費者（利用者・製品）ニーズの変化	5	3	7	15
4 仕入（材料価格）単価の上昇	14	6	1	26
5 人件費の増加	1	2	1	4
6 材料費・人件費以外の経費の増加	1	4	3	8
7 建物（店舗等）の狭隘・老朽化	2	3	3	8
8 駐車場の確保難	0	1	0	1
9 金利負担の増加	0	0	1	1
10 販売（製品）単価の低下・上昇難	4	3	0	7
11 事業資金の借入難	0	1	2	3
12 従業員の確保難	4	2	3	9
13 熟練技術者の確保難	0	2	1	3
14 下請業者の確保難	1	0	1	2
15 官公需要の停滞	1	2	1	4
16 民間需要の停滞	7	5	4	16
17 新型コロナウイルス感染症の影響	7	7	7	21
18 その他	2	0	3	5
計	53	46	38	137

経営課題上位5位までの内容及び割合		
第1位	仕入（材料価格）単価の上昇	19.0%
第2位	新型コロナウイルス感染症の影響	15.3%
第3位	民間需要の停滞	11.7%
第4位	消費者（利用者・製品）ニーズの変化	10.9%
第5位	建物（店舗等）の狭隘・老朽化	6.6%

地区内の景気動向（7～9月期）

全産業としては回復傾向に一服感が出たと言える。新型コロナウイルスの第5波の影響もある。産業別で見ると回復傾向にあるものの、その水準はいまだに低水準の域を脱しているとは言えない。第6波に対する警戒を継続していかなければならないが、幸いワクチン接種率も上がり、経済活動の再開は進むものと考えられる。

しかしながら、懸念されるポイントとして、（1）長引く需要の停滞・その回復時期、（2）DXやSDGsへの対応など設備投資負担、（3）仕入単価D Iの上昇にも見られるように世界的な原料高騰である。今後も需要は急激に回復することは考えにくい。苦しい状況下ではあるものの、設備投資や人材投資・経費削減・効率化に対する計画的な取り組みにより、経営基盤を強化することが一層求められるであろう。